

仕 様 表

JRA耐塩害仕様

RDA-SUP2801HTZ

空冷式一体形パッケージエアコン シングルエース 上吹タイプ

(50/60Hz)

形 名				RDA-SUP2801HTZ		使用 範囲	冷房		室外乾球温度℃DB		-15~48	
冷房 特性	定 格 冷 房 標 準 能 力 (注1)	kW	25.0 (28.0)		暖房		室内湿球温度℃WB		15~24			
	顕 熱 比	-	0.76				室外湿球温度℃WB		-25~15.5(注9)			
暖房 特性	定 格 暖 房 標 準 能 力 (注1)	kW	28.0 (31.5)		室内乾球温度℃DB		15~28					
	最 大 暖 房 低 温 能 力 (注11)	kW	23.5		エ ア フ ィ ル タ		現地手配					
外 装		シルキーシェード(マッセルY8.5/0.5)		運 転 調 整 装 置		リモコンスイッチ(別売)						
外形 寸法	高 さ	mm	1790		冷媒	種 類		R410A				
	幅	mm	1920			封 入 量		kg	7.3			
奥 行	mm	795		保護装置	電磁開閉器(室内送風装置)							
	製 品 質 量	kg	406		インバーター過電流保護(圧縮機・室外送風装置)							
						高圧スイッチ(作動：3.73MPa、復帰：2.90MPa)						
電気 特性	電 源 (注2)	三相200V 50/60Hz		電源 設計	基 準 電 流 (注4)		A	46.0				
		冷 房	運 転 電 流 (注1)		A	26.5 / 26.3		手元 開閉器	容 量	A	60	
	定 格 冷 房 標 準 消 費 電 力 (注1)		kW		7.94 / 8.20		ヒューズ		A	50		
	力 率 (注1)		%		86 / 90		漏電 遮断器 (注5)	容 量	A	50		
	暖 房	運 転 電 流 (注1)	A		26.7 / 25.8			感度電流	mA	100		
		定 格 暖 房 標 準 消 費 電 力 (注1)	kW		8.02 / 8.07			作動時間	sec	0.1以下		
		力 率 (注1)	%		87 / 90		電源 配線	最 小 太 さ	mm ²	より線 14		
始 動 電 流	A	46.6 / 41.0			こ う 長	m		39.5				
圧縮 機	形 式	全密閉形			アース線太さ	mm ²		より線 3.5				
	電 動 機 出 力 × 台 数	kW	7.23×1		電 源 容 量	kVA	20.0					
	始 動 方 式	インバーター方式			ド レ ン 口		mm	フレキシブルホースφ38(外径)				
	ケースヒータ出力×個数	W	26×1									
空 気 熱 交 換 器		フィンチューブ		定 格 騒 音 (音響パワーレベル) (注6)		dBA	冷房 84 / 84					
室内 送風 装置	送 風 機		シロッコファン(ベルト駆動)		騒音値	暖房 85 / 85						
	定 格 風 量 (注3)	m ³ /min	70			運 転 音 (音圧レベル) (注7)	dBA	冷房 64 / 64				
	電 動 機 出 力 × 台 数	kW	1.5×1		暖房 65 / 65							
	定 格 機 外 静 圧 (注3)	Pa	79 / 172		リ モ コ ン コー ド		500mまで	VCTF 0.5~2.0mm ² 2芯				
	最 大 機 外 静 圧 (定 格 風 量 時) (注3)	Pa	521		集 中 管 理 系 配 線		1000mまで	MVVS(シールド線)0.75~1.25mm ² 2芯				
	風 量 範 囲	m ³ /min	70 ~ 104		(Uhライン) (注8)		2000mまで	MVVS(シールド線)2.0mm ² 2芯				
室外 送風 装置	送 風 機		プロペラファン(直結駆動)		I P コー ド		IPX4					
	基 準 風 量	m ³ /min	178		法 定 冷 凍 ト ン		4.62					
電 動 機 出 力 × 台 数		kW	1.00×1		高 圧 ガ ス 申 請 区 分		不要					

(注1) 定格冷房標準能力・定格暖房標準能力および電気特性は、JRA4074:2017による温度条件の値です。()内は最大能力です。

(注2) 電源電圧は、変動があった場合でも±10%を超えないようにしてください。

(注3) 風量は固定のためリモコンスイッチによる風量切替はできません。

風量・機外静圧の変更にはプーリ変更 (ファン回転数変更) が必要です。

最大機外静圧は特注対応によりプーリ変更 (ファン回転数変更) をした場合の値です。

(注4) 電源設計は本基準電流値 (運転範囲中の最大電流) に基づき選定しています。

(注5) 漏電遮断器は必ず設置してください。なお、漏電遮断器は高調波対応品を使用してください。

(注6) 定格騒音 (音響パワーレベル) はJIS B 8616:2015に基づいた値です。

(注7) 運転音 (音圧レベル) は反射音の少ない場所で測定した値 (Aスケール) です。

実際に据え付けますと、周囲の騒音や反響などにより表示値より大きくなる場合があります。

(注8) 線種は2芯ケーブル (MVVS, EM-MEES, CVVS, CEES, EM-CEES, EM-CEE/F-S, VCTF, EM-ECTF, VCT) を使用してください。

(注9) -15℃以下での運転が長時間連続するような場所への設置はしないでください。

(注10) APF2006表示はJIS B8616:2006とJRA4048:2006, 2009, APF2015表示はJIS B8616:2015の統一条件に基づいています。

通年エネルギー消費効率算出のための数値 (注10)

定格冷房標準	能力	kW	25.0	定格暖房標準	能力	kW	28.0	最大暖房低温	能力	kW	23.5
	消費電力	kW	7.94		消費電力	kW	8.02		消費電力	kW	9.37
	エネルギー消費効率		3.15		エネルギー消費効率		3.49		定格冷暖標準エネルギー消費効率		3.32
中間冷房標準	能力	kW	11.3	中間暖房標準	能力	kW	12.6	通年エネルギー消費効率APF2015			4.3
	消費電力	kW	2.65		消費電力	kW	2.61	通年エネルギー消費効率APF2006		区分: ap	5.0

(注11) 最大暖房低温能力は、JIS B 8616:2015による温度条件の値です。